

→ 安全と処置

安全と処置

グリース編

ポンプからグリースが出ない

- タンクのグリースが少ない — 使用しているグリースと同銘柄・同一グレードのグリースを補充する
- グリースの稠度が変化している為にグリースを吸いこまない — グリースの稠度と温度の確認をする
- エアを吸い込んでいる — エア抜きバルブを開いてエアを抜き取る
- モーターの回転方向が違っている — モーター結線の点検
- モーターの耐用年数が過ぎている — モーターの交換
- バイパスバルブを開きすぎている — バイパスバルブの調整
- インレットチェックバルブ又はアウトレットチェックバルブが固着して開き放しになっている — 取り外して清掃点検する
- 駆動用エア圧不足 (GA 型ポンプ) — エア圧を適正圧に変更する
- ハンドル操作が不完全 (手動式ポンプの場合) — ハンドルを確実に最後まで操作する

主配管の圧力が上がらない

- リリーフバルブのボールシート部への異物混入 — リリーフバルブを清掃・点検する
- 配管内のエア混入 — 配管末端の分配器 (大きなシステムでは最高所) のクローサ・プラグをゆるめて、ポンプを作動させてエア抜きを行う
- 配管内の破損 — 破損した配管を交換する
- ポンプとバルブまでの配管距離の設定違い — データシートを検討し直す
- リリーフバルブの圧力の設定不良 — 正しい設定値に設定し直す
- シリンダー内部のピストン用 O リングの破損 — 交換
- 配管接続部分からのグリース洩れ — 適正トルクで締め付けるか、配管をし直す

エアの混入

- タンクのグリース量不足によりサククション口からエアが混入する — 使用しているグリースと同銘柄、同一グレードのグリースを補充する
- サククション部分の配管接続不良 — 接続部分を締め直す又は交換する
- 配管の破損 — 破損した配管を交換する

バルブからグリースが出ない

- 脱圧されていない — EGH の場合はレバーをレバークランプに納め
- バルブの目詰り — バルブの交換をする
- 給脂配管にグリース充填されていない — 初期の取付時にグリースを充填する

ポンプから外部へグリースが洩れる

- ポンプとオイルタンクのシールパッキンの磨耗又は破損 — 交換
- ポンプ接続部の締付けボルトのゆるみ — 締付けボルトを締め直す

運転ランプは点灯するが、ポンプが作動しない

- モーター結線不良 — モーターからの結線の点検
- サーキットプロテクターが OFF になっている — ボタンを押してリセットする

異常表示ランプが点灯する

- 運転時間の設定が短い為異常検知が作動する — 設定時間の確認
- グリースが不足でグリースレベルスイッチが動く — 使用しているグリースと同銘柄・同一グレードのグリースを補充する

グリースが適量に入っても異常表示ランプが点灯する

- グリースレベルスイッチの A・B 接点違いがある — 当社までお問い合わせください

異常表示ランプが消えない

- リセットボタンを押していない — リセットボタンを押す
- グリースの補充がされていない — 使用しているグリースと同銘柄・同一グレードのグリースを補充する

異常表示するが出力しない

- 外部信号の結線不良 — 外部信号接続の点検
- 接点容量のオーバー — 接点容量の確認

主配管の圧力が下がらない

- 給脂点及びバルブが目詰りしている — バルブの分解、点検、及び交換、給脂点の部品を分解清掃
- 配管がつぶれている — 配管交換
- 圧力計が不良 — 圧力計の交換
- グリースの稠度が合っていない — 稠度と温度を調査

オイル編

ポンプから油が出ない

- タンクの油面が低い — 使用している油と同銘柄・同一グレードの油を補充する
- サクションフィルタの目詰まり — フィルタの洗浄又は交換、場合によっては新油と取り換え、タンクの清掃をする
- 油の粘度が変化しているため油を吸い込まない — 使用油を再検討し、適正オイルに交換する 油の粘度と温度の確認をする
- モーターの回転方向が違っている (MLZ、MML 型は除く) — モーター結線の点検
- ポンプ内部配管の破損 (ねじれ、つぶれ、はずれ) — 接続部分の締め直し、又は交換
- バイパスバルブを開きすぎている (ギヤー式ポンプの場合) — バイパスバルブの調整
- インレットチェックバルブ又はアウトレットチェックバルブ固着して開き放しになっている — 取り外して清掃点検する
- ハンドル操作が不完全 (手動式ポンプの場合) — ハンドルを確実に最後まで操作する

主配管の圧力が上がらない

- リリーフバルブのボールシート部への異物混入 — リリーフバルブを清掃・点検する
- 配管内のエア混入 — 配管末端の分配器 (大きなシステムでは最高所) のクローサ・プラグをゆるめて、ポンプを作動させてエア抜きを行う
- 配管の破損 — 破損した配管を交換する
- 上記のいずれかの原因によりポンプ設定圧力まで上がらない — 上記の処置に従う
- 潤滑個所におけるフローユニット又はコントロールユニット の選定が適正でない — データシートを検討し直す
- リリーフバルブの圧力の設定不良 (ギヤー式ポンプの場合) — 正しい設定値に設定し直す
- シリンダー内部のピストン用 O リングの損傷 (ピストンポンプの場合) — 交換
- 配管接続部分からの油洩れ — 適正トルクで締め付けるか、配管をし直す

エアの混入

- タンクの油面低下によりサクション口からエアが混入する — 使用している油と同銘柄、同一グレードの油を補充する
- サクション部分の配管接続不良 — 接続部分を締め直す又は交換する
- 配管の破損 — 破損した配管を交換する

フローユニット又はコントロールユニットから油が出ない

- フローユニット又はコントロールユニットが目詰りしている — 交換する

ポンプから外部へ油が洩れ

- ポンプとオイルタンクのシールパッキンの磨耗又は破損 — 交換
- ポンプ接続部の締付けボルトのゆるみ — 締付けボルトを締め直す

オイルタンクからの油洩れ

- オイルケージの破損 — 交換
- オイルケージの締付けボルトのゆるみ — 締付けボルトを締め直す
- ドレーンプラグの締付けのゆるみ — ドレーンプラグを締め直す

運転ランプは点灯するが、ポンプが作動しない

- モーター結線不良 — モーターからの結線の点検
- サーキットプロテクターが OFF になっている — ボタンを押してリセットする

異常表示ランプが点灯する (コントローラ付ポンプ)

- 運転時間の設定が短いため圧カスイッチが作動しない — 設定時間の確認
- 油面低下によりオイルレベルスイッチが働く — 使用している油と同銘柄、同一グレードの油を補充する

油が適量に入っても異常表示ランプが点灯する

- オイルレベルスイッチの A・B 接点違いがある — 当社までお問い合わせください

異常表示ランプが消えない (コントローラ付ポンプ)

- リセットボタンを押していない — リセットボタンを押す
- 油の補充がされていない — 使用している油と同銘柄、同一グレードの油を補充する
- 規定の圧力が発生していない — 当社までお問い合わせください

異常表示するが出力しない

- 外部信号の結線不良 — 外部信号接続の点検
- 接点容量のオーバー — 接点容量の確認